



京丹波町社協だより

本誌は共同募金の配分金によって作られています。



ほほえみ

平成29年

9月号

No.41



笑顔でタッチ!!

表紙:キッズボランティア

もくじ

○新役員・新評議員紹介……………	2
○赤い羽根共同募金のお願い……	3
○平成28年度事業報告・決算報告…	4
○在宅福祉課よりお知らせ…………	6
○災害ボランティアセンターよりお知らせ…	7
○社会福祉体験学習について……	8
○作業所NEWS……………	10
○ファミリー・サポート・センター…	11
○寄付お礼……………	12

夏休みを利用して、子ども達に福祉活動を知ってもらう目的で「キッズボランティア体験」を実施しました。町内の小学生が12日間で延べ58名参加し、デイサービスセンターほほえみで高齢者の方とレクリエーションやお茶出しなどの活動を通して交流を行いました。参加した児童からは「関わり合う中で『ありがとう、すまん』と言われて嬉しかった」との声がありました。利用者さんも「子どもさんが明るく接してくれて嬉しい」と交流を楽しめました。



会長就任挨拶

福祉の充実



京丹波町社会福祉協議会
はせ たか ずみ
会長 波 瀬 孝 澄

この度、京丹波町社会福祉協議会の評議員会において会長に再任され就任することになりました。

常日頃は、本会において住民の皆様、町当局、関係の各位には格別のご理解、ご協力を賜り感謝とお礼を申し上げます。

さて、自治体においても財政健全化のための合併が取りすめられ、同時に京丹波町社会福祉協議会も三町（丹波、瑞穂、和知）社協が合併し、10月で12年が経過します。

ここ近年の経済・社会環境の激変、超異常気象、予測のつかない豪雨、また 益々の高齢化、少子化に直面、さらには地域福祉、家族環境の変容、困窮者の増加、高齢者の孤独・虐待、財産、権利の侵害等々、地域福祉環境は悪化の状況にあります。特に家族形態も小規模家族の傾向が多く、個々のライフスタイルを中心にそれぞれの価値観に基づいて物事を選択する傾向が強まるなか、本会が担う役割は、福祉

サービス提供を主体に中心的な役割を担うことはもちろんのこと、制度の狭間にある諸問題にきめ細かく対処し多様化する福祉ニーズに対応できる様、ただ漫然と過ごすことなく、地域における福祉の充実、発展に微力ながら尽くして参りたいと考えております。

社協の本来事業である「地域福祉を目的とする事業の企画・実施」を基軸とし、今後益々気象条件の悪化によるスーパー台風・豪雨災害の発生が起こる確率が高いと言われる中、災害時における緊急時要配慮者等の目配り、気配りが必要と考えます。そのためにはボランティア、民生児童委員、福祉関係者等々、多くの住民参加の下、行政、関係諸機関との情報の交換、連携をさらに強め、住民の皆様、行政、関係各位の格段のご協力を切にお願ひ申し、皆様の益々のご健康、ご多幸をご祈念申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

社協理事・評議員 新体制のご紹介

◇ 理 事

(敬称略・順不同)

氏 名	選 出 区 分
◎波瀬 孝澄	学識経験者
○谷垣 勇	学識経験者
○正田 恭丈	学識経験者
阪内 敏明	民生児童委員協議会
石田 美恵	民生児童委員協議会
春田 貢	民生児童委員協議会
山上 幸二	老人クラブ連合会
上田 輝美	女性の会
片山 俊明	福祉団体・機関
江本 正昭	福祉事業団体
岩波 茂夫	ボランティア代表
大西 義弘	町行政

◎会 長
○副会長

◇ 監 事

(敬称略・順不同)

氏 名	選 出 区 分
榎本 藤雄	行政書士
選考中	

※小畑圭一様が8月7日にご逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

◇ 評 議 員

(敬称略・順不同)

氏 名	選 出 区 分
湊 嘉秀	区長会
藤原喜代実	区長会
篠塚信太郎	区長会
城崎 正継	区長会
井上 勉	区長会
大西 弘二	区長会
片山 文生	区長会
樋口 義昭	区長会
山本 和之	民生児童委員協議会
岡本 英子	民生児童委員協議会
友金 一文	民生児童委員協議会
由良賀代子	民生児童委員協議会
片山 茂雄	民生児童委員協議会
樋口 由実	民生児童委員協議会
北野 秀治	老人クラブ連合会
木上 實	老人クラブ連合会
西村恵美子	女性の会
谷 茂代	女性の会
山下 立男	身障福祉会
西村 正宏	身障福祉会
和田 三郎	福祉事業団体
井上 和重	福祉事業団体
山本 英夫	福祉事業団体
山崎 裕二	ボランティア代表
軽野 順子	ボランティア代表
木上 實	ボランティア代表
藤田 幸子	ボランティア代表

※木上實様は町老連とボランティア代表を兼務

平成28年 京丹波町の募金額

赤い羽根共同募金

3,263,616円

戸別募金	2,964,231円	法人募金	42,380円
イベント募金	46,355円	街頭募金	14,278円
自販機募金	105,915円	職域・その他	90,457円

歳末たすけあい募金

2,044,113円

戸別募金 1,930,517円 法人・個人募金 113,596円

合計 5,307,729円

10月1日～3月31日
ご協力よろしくお願ひします

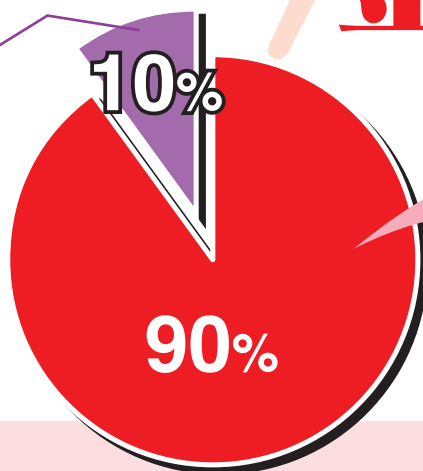
赤い羽根
共同募金

あなたの募金は、あなたの町へ
今年もはじまります

京丹波

京都府全体の
福祉事業のために

(府下の施設・団体等に配分)



福祉まつりの開催



助け合い活動かがやき



じぶんの町を良くする活動助成
(聞こえの相談会)



広報ほほえみの発行



歳末激励金事業



介護防水シート配布

赤い羽根共同募金



70th



あかぎさまで70周年

“お互いさま”

支え合う仕組みづくりと 次世代につなぐ福祉のこころ



福祉まつりでは、ボランティアコーナーや様々な体験コーナーを通じて、小さな子どもから大人までが参加できる内容を多く取り入れ、楽しみながら福祉についても感じていただく場となりました。

京丹波町社会福祉協議会では、6月13日（火）評議員会を開催し、平成28年度事業報告ならびに資金収支決算の承認をいただきました。

28年度は、これからの10年を見据え、前年度から見直しを進めてきた組織体制の改編や、住民寄り添い型助け合い活動「かがやき」の運用スタート、また、若い世代への福祉との関わりを持つていただく取組みを行いました。

このような取組みを通じて、過疎・超高齢社会が進行する本町において、住民みんなが参加し支えあえる地域福祉の推進に取組むことができました。

地域福祉の推進と質の高いサービス提供を目指した組織改編



本所：総務課・在宅福祉課



丹波支所：地域福祉課



和知支所：地域福祉課

さらなる住民参加による福祉の推進、住民ニーズへの積極的な対応ができる組織づくり、福祉事業所としての経営基盤の強化を重点項目として組織の改編を行いました。

総務課では、会計事務や役員会議の開催、人事管理や各種募金事務等を行います。在宅福祉課では社協の介護保険事業を中心に、居宅・在宅福祉事業を担当します。地域福祉課では、住民総合相談や、ボランティア活動支援のほか、災害ボランティアセンターの運営や調査・研究・広報活動など地域福祉活動全般を担当します。

住民参加による生活支援システムの推進



住民の主体的な参加と協力により、生活上のちょっとした困りごとを「お互いさま」の気持ちで助け合う活動の推進を行いました。

ニーズに沿ったサービスの提供



介護保険事業や共同作業所において、利用者の要望に沿ったサービスの提供を心掛けています。
デイサービスでは旅行に行きたいという利用者の声から、天橋立への日帰り旅行を実施し、ご家族も一緒に参加いただきました。

その他にも… ファミリー・サポート・センターでの子育て支援や各種団体の事務など様々な地域福祉を展開しました。

若い世代への福祉情報の発信



フェイスブックやインターネットによる社協事業の紹介やイベントの呼びかけを行う事で、若い世代に情報を発信し、福祉への理解や事業への参加を呼び掛けることができました。

福祉のこころを育む



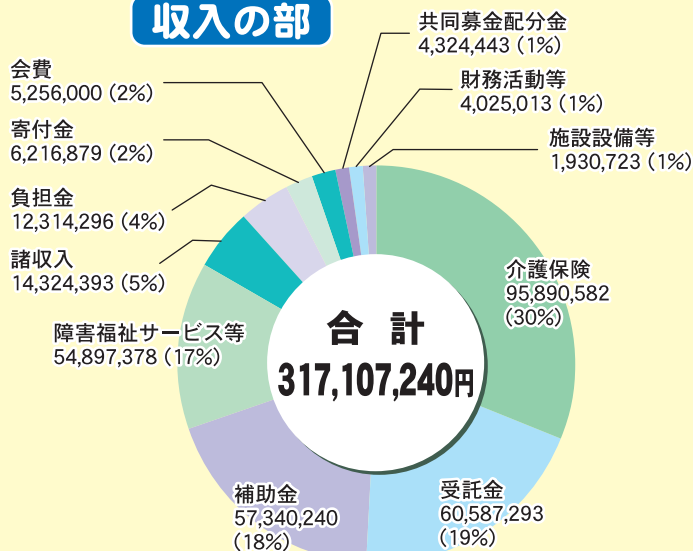
小さいころから福祉の心を育むために、小中学生を対象に「キッズボランティア」を開催。デイサービスを利用いただく高齢者の方々との交流を通じて、命の尊さや思いやり、やさしさの気持ちを培っていただく場となりました。

平成28年度

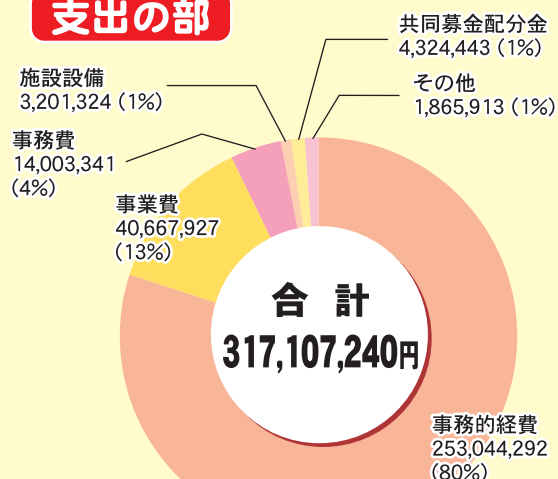
京丹波町社会福祉協議会

決算

収入の部



支出の部



単位：円

家族介護者教室を開催しました！

家族介護者教室を7月21日(金)に瑞穂地区を対象に、8月30日(水)には丹波地区を対象に開催しました。

29年度は(株)クリニコの管理栄養士梶巻早耶香氏をお招きし「食べることが難しい時の食事」と題し、「嚥下^{えんげ}の仕組み」について説明いただきました。

また、京丹波町社協の認知症地域支援推進員からは「認知症とケアパス」について説明し、両日合わせて18名の参加がありました。



誤嚥予防について紹介!!

嚥む力が弱くなる



細かく刻むことで飲み込みの助けとなります。但し、喉の奥でばらけやすくなるので、注意して食べましょう。また、口腔体操で唾液量を増やすと飲み込みやすくなります。

飲み込む力が弱くなる



サラサラした水分が喉に流れ込むスピードに対応できずに、むせてしまうことがあります。とろみを付けることにより飲み込みのスピードが調整され誤嚥を予防することができます。

参加者からの感想

嚥下の仕組みでは「トロミを付け過ぎてしまうと美味しいとは感じられない。逆に飲み込みにくいことも分かった。」「本人に合わせて使ってみたい。」
認知症の話では「閉じこもらずに人と交わることが大事。」「これからも本人へ優しく関わります。」

日常にある誤嚥しやすい食べ物の紹介

ばらばらしたもの	きざみ食、豆類、生野菜など
ぱさぱさしたもの	パン、ビスケット、焼き魚など
さらさらしたもの	水、お茶、お味噌汁など
嚥むと水分が出るもの	がんもどき、高野豆腐など
のどにつまりやすく細かくても危険なもの	もち、白玉もち、カマボコ類のり、わかめなど
まる飲みしやすいもの	コンニャク、ところてんなど

★口腔体操の資料をご希望の方は社協在宅福祉課 86-1440 までお問合せください。

和知地区 家族介護者教室開催

- 日 時：平成29年9月26日(火) 10:15~12:00
- 場 所：特別養護老人ホーム 長老苑
- 内 容：「嚥下の仕組み」・「認知症とケアパス」について



災害時の非常持ち出し品

100円均一^{ひゃっせん}で、どれだけ揃えられるか!?

災害が発生し電気・ガス・水道などが止まってしまった場合や、避難所へ避難することになってしまった場合には、事前に避難生活に必要な物品を『非常持ち出し品』としてまとめ、持ち出せるようにしておく有効です。
しかし、避難生活に必要な物はたくさんあり、それらを購入すると意外とお金がかかります。そこで、「100円均一で、どれだけ必要な物が揃えられるのか？」と考え、お店に行って調べてみました。



【非常持ち出し品リスト】※物品の選定には、首相官邸ホームページに掲載されている物品を採用しました。

物 品 名	入手し易さ	お店での販売の様子など
飲料水	×	一般的な飲料水は入手できますが、長期間保存できる防災用長期保存水は販売されていませんでした。
食料品 (カップメン・缶詰・ビスケットチョコレートなど)	△	カップメン、缶詰、ビスケットについては入手できます。チョコレートについては、夏期は販売されないそうです。
貴重品 (預金通帳・印鑑・現金・健康保険証など)	—	これらの物品は、各自でご用意ください。
救急用品 (絆創膏・包帯・消毒液・常備薬など)	△	絆創膏、包帯、消毒液は入手できます。常備薬は販売されていませんでした。薬局等で購入してください。
ヘルメット・防空頭巾	×	どちらも販売されていませんでした。自分で作るなら、防空頭巾の材料になる物は販売されています。
マスク	○	色々なサイズ、枚数の物が販売されています。
軍 手	○	入手できます。ゴム手袋、使い捨て手袋もありました。
懐中電灯	○	普通の懐中電灯の他、両手が自由になるランタン型や頭に付けられる物もありました。
衣 類	×	販売されていませんでした。
下 着	○	Tシャツ、靴下、パンツ(男女)、ストッキングなど様々な物がありました。
毛布・タオル	△	タオルは販売されていますが毛布は販売されていません。(冬場になるとひざかけは販売されるそうです。)
携帯ラジオ	×	販売されていませんでした。
携帯電話の充電器	○	コードと充電器が別々に販売されていました。
使い捨てカイロ	△	夏期には販売されていませんが、冬期には販売されます。
ウェットティッシュ	○	色々な種類が販売されています。体を拭ける物、赤ちゃんのおしり拭きなども販売されています。
洗面用具	○	歯ブラシ、歯磨き粉、石鹸、ひげ剃りなど色々な物が販売されていました。
携帯トイレ	△	数個ずつではありますが、販売されているそうです。

※お店により販売されていない商品(在庫切れ、取り扱いが無いなど)や、時期によって販売されていない場合がありますのでご注意ください。

調べてみた結果、想像していた以上に100円均一でも入手できる物品があることが分かりました。特に、複数準備する物などの購入には100均商品も有効であると思います。

- リストの物品以外にも、防災用品として使えそうな商品も販売されていました。
レインコート、ろうそく、ライター、携帯用スリッパ、ホイッスル、紙皿、紙コップ、髪留め、非常持ち出し品をまとめて入れられるような大きな巾着袋…など。

福祉体験学習

町を担う中学生・高校生を対象に町内の福祉事業所のご協力をいただき毎年実施しております。

思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを培う。
ランティア活動への参加など）を具体的に想像できるようにする。

ソジェール・デイサービスセンターほほえみの4事業所での体験希望があり、実施にご協力いただきました。
3日間を有意義に過ごしてくれたように思います。



体験学習を振り返って 抜粋

- ★ 1人1人を知ることが大切だと知りました。
- ★ 想像していたよりも、していることがハードで結構大変な仕事だなと思いました。
- ★ クラスごとにおもちゃが違ったりするのは、子どもがしっかり成長しているからということも知ったし、それは子どもと遊んでいる時にも実感しました。
- ★ 利用者の方が快適に過ごされるためにされていること、注意しなければならないことなど、たくさんのことを教えてもらえて嬉しかったです。帰る時に「また来てね」とかあたたかい言葉をかけてもらい嬉しかったのと、また時間があれば行かせてもらいたいなと思いました。

**像とは違う仕事の一面も経験できました。
考える機会になったとも思います。
のみなさんありがとうございました。**

平成29年度 社会

京丹波町社会福祉協議会の社会福祉体験学習は、「福祉の風土づくり」を目指し、次世代の京丹波本年度も中高生の自主的な参加のもと、以下の3点をねらいとして実施しました。

- ①福祉施設や地域において子どもや高齢者、障がいのある人たちと触れ合うことにより、命の尊さや
- ②実際に福祉施設で働く職員の仕事を体験することにより、生徒の将来の夢（福祉職場への就職やボ
- ③自分たちの住む地域の施設で体験することにより地域を知り大切に思う心を培う。

今年は中学生6名、高校生1名の合計7名に参加いただき、上豊田保育所・みずほ保育所・わち工参加生徒のみなさんは緊張しながらも、利用者の方々や園児と一緒に過ごし、少しずつ緊張もほぐれ、



協力事業所の方へのアンケートより

- 3日間の体験の中で日に日に表情も明るくなり、積極的に園児とかかわる姿が見られました。そのようなかわりの中で生徒さん自身が楽しく、元気に活動されていたことが園児たちに十分伝わり、互いに楽しい日々が過ごせたように思います。
- 今回の体験学習に自分なりの目標や問題意識を持って参加してくれたこと本当に良かったのではないかと思います。
- この体験を通して学んだことを活かしながら、自分の夢に向かってさらに頑張りたいと思います。そして、これからも様々な福祉の仕事に興味や関心を深めてください。

等々、あたたかい応援メッセージをいただきました。
ありがとうございました。



**生徒たちはこの体験を通して、想
この夏の体験が、これからの進路を
受け入れて頂いた保育園、事業所**

作業風景

下請け作業、清掃作業、資源回収、自主製品製作等に取り組んでいます。
その一部を紹介します☆



NEWS 共同作業所



花火大会に向け、水辺公園の草刈り作業(丹波)



細かなビーズ製品作り(瑞穂)

とうがらしの選別作業(瑞穂)



木工製品はカット、成形、焼きなど加工し、ひとつずつ磨き上げていきます。(和知)



完成した自主製品は下記のイベントで販売します。
ぜひ足を運んでいただき製品を手にとって
いただければ幸いです♡

- 10月 8日(日) ステップあけぼの：南丹市国際交流会館
- 10月14日(土) 和知ふれあい祭り：道の駅「和」
- 10月21日(土) 丹波桜梅園秋祭り：丹波桜梅園
- 10月28日(土) ぬくもり京都丹波：イオンモール京都桂川内
- 10月29日(日) 上和知中部村まつり：作業所和知支所前広場
- 11月 3日(金) 丹波公園まつり：丹波自然運動公園
- 11月26日(日) 三ノ宮ふれあいまつり：作業所瑞穂支所前



京丹波町共同作業所では：

障がいを持つ方々が地域の一員として
自分らしい生活が出来るよう、就労
訓練や生活能力向上のための援助を行
っています。

◆問い合わせ先◆

丹波本所 ☎82-2015
瑞穂支所 ☎88-5200
和知支所 ☎84-5005

京丹波町ファミリー・サポート・センターから



☆会員数☆ (平成 29 年 8 月末)

依頼会員	提供会員	両方会員	合 計(人)
59人	46人	14人	119人

第 1 回提供会員養成講習会開催のご案内

第 1 回提供会員養成講習会を下記の日程で行います。
子どもと関わる活動がしたい方、子育て中の方のお手伝いをしたい方、大募集です。
子育て中の方にも参考になる講習内容ですので、お気軽にご参加ください。

■日 時 平成29年 12月 7日(木) 午前9時から午後4時

12月14日(木) 午前9時から午後4時

■場 所 京丹波町瑞穂保健福祉センター 2階 集団指導室

■内 容

皆さまのお申込み
お待ちしております。

月 日	時 間	プログラム
12月 7 日 (木)	9:00 ~ 9:10 ~ 10:30 10:40 ~ 11:10 11:15 ~ 12:00 13:00 ~ 14:00 14:00 ~ 16:00	開会 あいさつ/オリエンテーション 子どもの権利(人権)に関すること 京丹波町の子育て支援について 受講生交流 活動体験談 救急時対策と応急処置について(救命講習)
12月14日 (木)	9:00 ~ 10:30 10:40 ~ 11:50 13:00 ~ 16:00	子どもの安全と病気の世話について 預かり会員として活動するために 子どもの社会性と遊びについて

■その他 ※事前のお申込みが必要となります。下記までお電話下さい。
※託児を行います。ご希望の方は申込みの際にお伝えください。

お申込み・お問合せ先

京丹波町社協 地域福祉課

電話:0771-82-0126 CATV:382-0126



善意のご寄付

ありがとうございます

みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

(平成二十九年六月一日～八月三十一日まで)

数字で見る 京丹波の福祉



平成29年8月31日現在 ※()内は前号〈H29.5.31〉との比較

	丹波	瑞穂	和知	町全体
人 口	7,336人 (-11)	4,286人 (-18)	3,050人 (-8)	14,672人 (-42)
65歳以上人口	2,668人 (+7)	1,860人 (+5)	1,439人 (+2)	5,967人 (+14)
高齢化率	36.37% (+0.15)	43.40% (+0.3)	47.18% (+0.27)	40.67% (+0.21)
ボランティア登録者数	0~14歳	0	0	11
	15~64歳	78	37	153
	65歳以上	208	130	464
	合 計	297	167	628

平成29年度社協会費にご協力いただき ありがとうございました

区長さまを通じて、7月からご協力をお願いしてありました京丹波町社会福祉協議会一般会費の納入につきまして、多くの方々にご協力いただき誠にありがとうございました。

皆様から納入いただきました会費は、京丹波町の地域福祉の推進、在宅福祉サービス、各種社協福祉事業に活用させていただきます。

一般会費
納入総額 **4,700,000円**

(H29.9.4日現在)

なお、一般社協会費の新規納入につきましては、年度を通じて受付させていただいております。

【会費についてのお問い合わせ】

社協総務課 TEL 0771-86-1444